

スもありました。

◎ まちづくり推進事業の中で実施されたファシリテーター養成講座を活かし、まちづくりサロンという形の中での行政懇談会を考えてみては。

▲ ファシリテーター養成講座では、楽しい話し合いの進め方を学びました。今後、受講者の方々

に町や地域の話し合いの場が主軸として進行していただき、楽しい話し合いが行われていけば、若い参加者も増え、幅広い意見を取り入れることができますので、活用していきたい。

◎ 公用車管理事業で決算額が前年度より100万円ほど増えた理由は。

▲ 燃料の数量は前年度より2,250リットル削減できましたが、単価の変動が大きかった影響で、支払金額は増加したものです。

◎ 防犯灯をLEDや太陽光型に替えることで、電料の削減が図れるのでは。

▲ 初期投資に費用がかかりますので、一遍には難しい面がありますが、現在、



LED防犯灯

新しく設置する場合の防犯灯については全てLEDになっています。また、場所によっては、太陽光型の防犯灯を検討していきたい。

◎ 町道維持管理事業の委託料の内訳は。

▲ 道路清掃を2回、除草を5回、樹木等の剪定を2回、伐採等を3回実施しました。

◎ 圏央道沿線地域産業・交流活性化協議会での企業誘致PR活動はどのように実施しているのか。

▲ 協議会は茨城県と沿線にある県内の13市町村

等で構成しています。

パンフレット作成のほか、産業用地視察会等を開催し、五霞町のほか近隣の周辺地域を多くの企業の方に視察していただいています。

◎ IC周辺地域整備における企業誘致の状況について。

▲ 今年中には各フロックが仮換地になる予定です。五霞のまちづくりに合った企業を誘致できるよう、業務代行業者及び県関係機関と緊密に連携を図りながら進めています。

◎ 小学校では遠距離通学児童を対象にスクールバス送迎を行っているが、遠距離とはどの程度を指すのか。

▲ 遠距離の定義については、距離ではなく地区で実施させていただいて

います。

◎ 国民健康保険の人間ドック助成については申込者が多く、40件の枠が受付開始から1日で埋まってしまふこともあると聞いたが、助成額を減らしてでも、対象人数を増やす方が病気の早期発見に効果があるのではないか。

▲ 平成28年度予算に向けて検討をしたい。また、町で実施している特定健診は受診率が30%台と低い状況であり、こちらの受診率の向上も図りながら健康管理を進めていきたい。

◎ 地震や水害で想定外の災害が起きた場合に、一番大切なのは水の供給です。

▲ タンク2基

で4,000トンです。で1日分は賄えます。また、災害時における応急対策・供給協力に関する協定をキューピー(株)五霞工場、(株)ヤクルト本社五霞工場と締結していますので、事業所の井戸を使わせていただけることになっています。



タンク2基



まちづくりサロンで話し合いを進行する受講者